

福井工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語 I (F1)
科目基礎情報					
科目番号	0031		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	1年混合学級 (一般教育科目)		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	4	
教科書/教材	"Fundamental Science in English I" (成美堂) 『データベース 4 5 0 0 完成英単語・熟語』 (桐原書店) 『Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル』 (アルク)				
担当教員	宮本 友紀,藤田 卓郎,マグラブナン ポリン				
到達目標					
(1) 平易な英語で書かれた理系英語文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を読み取ること。 (2) 日常生活や身近な話題、理系の話題に関して、英語で簡単に表現すること。 (3) 高等学校初級程度の英文法、語法に加え、初歩的な理系の表現を習得すること。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	辞書や文法等を活用しながら、与えられた全ての英文を読み、そのほとんどの内容について理解することができる。		辞書や文法等を活用しながら、与えられたほとんどの英文を読み、その内容について大体理解することができる。		辞書や文法等を活用しても、読むことが困難な英文が多く、その内容についてもほとんど理解することができていない。
評価項目2	辞書や文法等を活用しながら、与えられた全ての話題について、まとまりのある内容を、適切な英語で表現することができる。		辞書や文法等を活用しながら、与えられたほとんどの話題について、まとまりのある内容を一通り表現することができる。		辞書や文法等を活用しても、与えられた話題について、ほとんど表現することができていない。
評価項目3	与えられた課題を全て期限内に取り組み、その内容について8割以上の習得が見られる。		与えられた課題のほとんどに取り組み、その内容について6割以上の習得が見られる。		与えられた課題に取り組めていないものが多く、その内容について6割未満の習得である。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 RC1					
教育方法等					
概要	(1) 初歩的な理系英文を読んだり聴いたりし、その内容を理解した上で、その概要を英語で簡単に表現できることを目指す。(2) 理系の基礎的な語彙や表現に触れることで、工業英語の基礎力を養うことを目指す。(3) 多様な課題に取り組むことで、計画を立てて学習する力を養うと同時に、授業外での学習時間の確保、資格試験対策を行うことを目指す。				
授業の進め方・方法	授業では四技能(スピーキング、ライティング、リスニング、リーディング)を養う活動を多く取り入れながら、知識の取得と運用能力の向上を目指す。また、語彙テストや各種課題を設定したり、英語の基礎的な学習法を適宜紹介したりしながら、授業外での学習を促す。				
注意点	評価方法: 100点満点で評価する。前期成績と後期成績の平均点で、60点以上を合格とする。各学期の成績は、定期試験(50%)、その他(小テスト・単語テスト・課題・プレゼン等)(50%)で評価する。 評価基準: 100点満点中60点以上で合格とする。				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 高専での英語学習について 数字・単位・数式		
		2週	数字・単位・数式		
		3週	FSE Unit 1-1, 1-2 addition, subtraction		
		4週	FSE Unit 1-3, 1-4 multiplication, division		
		5週	FSE Unit 1 復習 『中学英文法を修了するドリル』現在分詞と過去分詞		
		6週	『中学英文法を修了するドリル』現在分詞と過去分詞		
		7週	中間試験対策		
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	FSE Unit 2-1, 2-2 polygons, area		
		10週	FSE Unit 2-3, 2-4 circle, space figures		
		11週	FSE Unit 2-5, volume, Unit 2 復習		
		12週	『中学英文法を修了するドリル』関係代名詞主格と目的格		
		13週	『中学英文法を修了するドリル』関係代名詞所有格		
		14週	期末試験対策		
		15週	前期期末試験		
		16週	前期期末試験返却・解説		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション 前期の復習		
		2週	FSE Unit 3-1, 3-2 atoms and molecules, boiling point and melting point		
		3週	FSE Unit 3-3 temperature and volume, Unit 3 復習		
		4週	FSE Unit 3 復習 『中学英文法を修了するドリル』現在完了形		

		5週	『中学英文法を修了するドリル』現在完了形	
		6週	『中学英文法を修了するドリル』現在完了形の復習	
		7週	中間試験対策	
		8週	前期中間試験	
	4thQ	9週	FSE Unit 4-1, 4-2 coordinates, graphs of linear equations	
		10週	FSE Unit 4-3 quadratic equations	
		11週	FSE Unit 4 復習	
		12週	FSE numbers, calculations, graphs and functions 復習	
		13週	FSE figures, state of substance 復習	
		14週	FSE 総合復習 『中学英文法を修了するドリル』英文解釈のコツ	
		15週	後期期末試験	
		16週	後期期末試験返却・解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	小テスト・単語テスト・課題等	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100
専門的能力	0	0	0